

令和4年度

事業計画書

令和 4年 4月 1日から

令和 5年 3月31日まで

公益財団法人筑紫野市文化振興財団

令和4年度公益財団法人筑紫野市文化振興財団事業計画書

I. 基本方針

公益財団法人筑紫野市文化振興財団は、定款に「文化施設の管理運営を効率的かつ円滑に行い、市民の文化的生活の向上及び地域文化の振興に寄与すること」を目的に掲げ、その実現に向けて取り組んでいる。

特に、筑紫野市から指定管理者の指定を受けて4期2年目（令和3～7年度）となる令和4年度は、筑紫野市が市制施行50年の節目の年を迎えることから、市民と共に祝う記念公演を開催する。

また、財団の運営にあたっては、将来にわたって継続的に公益財団法人としての使命を果たすため、人材育成の強化を図っていく。

定款に定める事業（第4条関係）

1. 市民の文化・芸術の振興に関する事業
2. 文化の拠点となる施設の整備及び管理運営に関する事業
3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

II. 事業内容

1. 市民の文化・芸術の振興に関する事業（定款第4条第1項第1号関係）

①公演事業の実施について

定款に則り、市民の文化的生活の向上及び地域文化の振興に寄与する事業等を行う。

令和4年度のテーマ

『祝祭 ～節目の年を寿ぎ 未来に夢をつなぐ～』

(1) 市制施行50周年を記念し、未来へつながる多彩な文化事業を行う。

節目の年にふさわしい記念公演として、市民参加の合唱団とともにベートーベンの交響曲第9番・第4楽章「歓喜の歌」と筑紫野市歌の演奏や出演者を広く市民に公募する市民参加ミュージカルに取り組む。これらの事業をとおして市制施行50周年を市民とともに祝い、筑紫野市の未来に向けて新たな

一步を踏み出す。筑紫野市が「文化の風」が吹き渡る街であり、文化会館が市民の文化の活動拠点となり、「文化の風」を巻き起こす発信地となることを目指す。

(2) 本市に縁のある個人、団体とともに、幅広い世代の市民が文化芸術活動と出会う事業を行う。

当財団の事業展開の特徴である「市民協働」「市民参加」による事業をとおして、鑑賞する楽しさや表現する喜び、感動する心と出会える事業を行う。これらの事業をとおして豊かな情感が生まれ、日々の生活に潤いと活力を生み出すことを目指す。

今年度開催する全14事業をとおして、祝祭空間となった文化会館に市民が集い、未来に夢をつなぐ「文化芸術」を文化会館から発信することで更なる文化の広がりや次世代への継承を目指す事業を実施する。

②定期情報誌の発行及びホームページの運営

当財団の活動、事業の広報・周知をするため情報誌「トピック」を隔月刊で発行し、市内全世帯に無料配布するとともに市内各施設（図書館、生涯学習センター及び各コミュニティセンターなど）にも送付する。

また、ホームページやFacebookで施設の紹介や利用案内、催し物案内などを行い、市民への周知と利用者の増加に努める。

2. 文化の拠点となる施設の整備及び管理運営に関する事業（定款第4条第1項第2号関係）

①筑紫野市文化会館の管理運営について

(1) 施設の利用の許可及び使用料の収受に関すること

筑紫野市文化会館の利用承認等業務及び使用料の収納業務を的確に行うとともに、利用率向上のため、利用者には適切・積極的なサービスに努める。

また、施設の貸与については、条例に基づき公益目的で利用する場合は優

先的に貸与する。

(2) 施設及び附属設備の維持管理に関すること

利用者や入館者が安全で安心して快適に利用できるよう、施設全般の適正な維持管理に努める。

(3) 災害等に備えて防火避難訓練等の実施

災害等に備えて、消防用設備保守点検及び防火避難訓練を行う。

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第1号第3項関係）

①文化施設の貸与事業

公益目的以外でも施設利用の要望があるため、条例に基づき物販利用などは使用料を4倍に設定するなど、公益目的と差を付けて施設貸与を行う。

②物品販売等に関する事業

施設利用者等が物品販売等を行う際に、販売手数料を徴収する。

4. その他

財団職員の知識、技術の向上を図るため、講座、説明会及び研修会に参加し、研鑽に努める。

別 表

令和4年度 公演事業月別年間事業計画表

(定款第4条第1項第1号関係)

月	事業名	事業種別	会場	概要	企画番号
4年 5 ・ 10	あなたもピアニスト!	その他	大・多目的ホール	グランドピアノの弾き込みの為、コンクール等の出演をめざす人を対象に練習機会を提供。	7
7	〈文化活動アウトリーチ事業〉 第十八回ちくしの寄席 学校 DE 落語会	鑑賞型	小・中学校	本市出身のプロ落語家による学校公演。日本の伝統芸能の継承をめざす。	3
	第十九回ちくしの寄席 其の壱：落語の楽しみ方講座 其の貳：立川生志“ふるさと応援”落語会	鑑賞型	さんあいホール	本市出身のプロ落語家・立川生志と柳家さん光による日本の伝統芸能・話芸を披露。	4
9	ちくしのミュージックフェスタ with DA・N・KA・I Vol.6	参加創造型	大ホール	実行委員会と共催。“団塊世代”の楽曲を演奏する世代を越えたグループによる発表と交流。	9
	〔共催事業〕 市民参加ミュージカル 「パーパス! ～森の王様と 八人の子どもたち～」(仮称) 	鑑賞型 育成支援型	大ホール	市制施行50周年を記念して、子どもから大人まで出演する市民参加ミュージカルを、つくしドリームミュージカル運営委員会と共催で実施する。	5
1 1	第37回名曲コンサート・スペシャル 『祝祭』 	鑑賞型 育成支援型	大ホール	市制施行50周年を記念して、九州交響楽団メンバー等で編成されたアンサンブル福岡の演奏、大友直人指揮による「ベートーベン『交響曲第九番』第4楽章」、筑紫野市歌、オペラアリアなどの演奏に取り組む。	1
1 2	海援隊トーク&ライブ2022 	鑑賞型	大ホール	市制施行50周年を記念して、本県に縁のある海援隊によるトーク&ライブを実施する。	6
5年 3	夢野久作と杉山三代研究会 第10回研究大会	教養講座型	未定	平成23年度に開催した文化塾「杉山家3代と筑紫野」の継承事業。	1 2
	ちくしのプラスフェスタ Vol.4	育成支援型	大ホール	市内中学校、高等学校、社会人の9団体による吹奏楽団の発表と交流。「メセナちくしの“吹奏楽祭”」継承事業。	1 1
	第16回ハーモニーフェスタ in ちくしの	参加創造型	大ホール	幼児から高齢者までの市内の合唱グループとゲストによる発表と交流。	1 0
調整中	陸上自衛隊第4音楽隊 ふれあいコンサート in 筑紫野	鑑賞型	大ホール	平成18年度より陸・海・空の音楽隊を招聘。	2
	〔共催事業〕 NHK「おかあさんといっしょ 宅配便 ガラピコぷ～小劇場」 	鑑賞型	大ホール	市制施行50周年を記念して、キャラクターとうたのおねえさんによるステージ。NHK福岡拠点放送局、筑紫野市、当財団による共催事業。	8
通年	文化活動団体支援事業	育成支援型	—	筑紫野市ちくしの少年少女合唱団、筑紫野市文化協会、(特)ちくしの子ども劇場、筑紫野市吹奏楽団、ちくしの混声合唱団の活動を支援する。	1 3
	文化活動ボランティア育成事業 サポーターズバンク	育成支援型	—	公演事業の運営等を支援する人材の育成。	1 4